

平成31年度
京都大学
特色入試選抜要項



目 次

「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ	1
1. 京都大学の基本理念	2
2. 京都大学入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	3
3. 京都大学特色入試の基本方針	4
4. 各学部が特色入試を通じて求める人物像	5
5. 募集人員・試験実施方式	10
6. 選抜日程	11
7. 出願資格、出願要件、提出書類、 大学入試センター試験利用教科・科目名、選抜方法及び基準	
総合人間学部	12
文学部	13
教育学部	14
法学部	15
経済学部	16
理学部	17
医学部医学科	18
医学部人間健康科学科	19
薬学部薬科学科	20
薬学部薬学科	21
工学部地球工学科	22
工学部建築学科	23
工学部物理工学科	24
工学部電気電子工学科	25
工学部情報学科	26
工学部工業化学科	27
農学部資源生物科学科	28
農学部応用生命科学科	29
農学部地域環境工学科	30
農学部食料・環境経済学科	31
農学部森林科学科	32
農学部食品生物科学科	33
各種問い合わせ先	34

注：京都大学では平成29年度特色入試からインターネット出願を導入しています。

「平成31年度京都大学特色入試学生募集要項」は平成30年7月頃に京都大学ホームページにて公表予定です。
出願にあたっては、必ず募集要項を確認してください。

「高大接続型」特色入試を受験される皆さんへ

京都大学は創立以来、対話を根幹とした自由の学風のもと自主独立と創造の精神を涵養し、多元的な課題の解決に挑戦して、地球社会の調和ある共存に貢献すべく、質の高い高等教育と先端の学術研究を推進してきました。

また、大学を社会や世界に開く窓として位置づけ、WINDOW構想(Wild & Wise, International & Innovative, Natural & Noble, Diverse & Dynamic, Original & Optimistic, Women & the World)の下に有能な学生や若い研究者の能力を高め、それぞれの活躍の場へと送り出す目標を掲げています。

京都大学特色入試は、高校教育から大学教育への接続を図り、社会の各界で積極的に活動できる人材や世界を牽引するグローバルリーダーを育成するため、高校での学修における行動や成果、および個々の学部教育を受けるにふさわしい能力ならびに志を総合的に評価する、京都大学独自の選抜方式です。

平成28年度から実施している特色入試も平成31年度入試で4年目を迎えます。より多くの意欲ある受験生が特色入試に挑戦し、京都大学の門戸を叩いてくれるよう、平成30年度入試からは全学部全学科で実施しています。

研究型総合大学である本学において、一般入試と特色入試で入学した多様な学生が切磋琢磨することによって、新しい考えが生み出されていくことを期待しており、分野を超えて異なる能力や発想に出会い、対話を楽しみ協力関係を形作る場を提供していきたいと考えています。そういった出会いや話し合いの場を通じて野生的で賢い学生を育て、彼らが活躍できる世界に向けた窓を開け、学生たちの背中をそっと押して送り出すことが、私たち京都大学の教職員の共通の夢であり目標です。

受験生の皆さんが、この特色入試という新しい扉を開けて、本学に集まってくれることを期待しています。

平成30年 6月



京都大学総長 山極 壽一

京都大学は、創立以来築いてきた自由の学風を継承し、発展させつつ、多元的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献するため、自由と調和を基礎に、ここに基本理念を定める。

■ 研究

1. 京都大学は、研究の自由と自主を基礎に、高い倫理性を備えた研究活動により、世界的に卓越した知の創造を行う。
2. 京都大学は、総合大学として、基礎研究と応用研究、文科系と理科系の研究の多様な発展と統合をはかる。

■ 教育

3. 京都大学は、多様かつ調和のとれた教育体系のもと、対話を根幹として自学自習を促し、卓越した知の継承と創造的精神の涵養につとめる。
4. 京都大学は、教養が豊かで人間性が高く責任を重んじ、地球社会の調和ある共存に寄与する、優れた研究者と高度の専門能力をもつ人材を育成する。

■ 社会との関係

5. 京都大学は、開かれた大学として、日本および地域の社会との連携を強めるとともに、自由と調和に基づく知を社会に伝える。
6. 京都大学は、世界に開かれた大学として、国際交流を深め、地球社会の調和ある共存に貢献する。

■ 運営

7. 京都大学は、学問の自由な発展に資するため、教育研究組織の自治を尊重するとともに、全学的な調和をめざす。
8. 京都大学は、環境に配慮し、人権を尊重した運営を行うとともに、社会的な説明責任に応える。

2

京都大学入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

京都大学は、日本の文化、学術が育まれてきた京都の地に創設された国立の総合大学として、社会の各方面で活躍する人材を数多く養成してきました。創立から1世紀以上を経た21世紀の今日も、建学以来の「自由の学風」と学術の伝統を大切にしながら、教育、研究活動をおこなっています。

京都大学は、教育に関する基本理念として「対話を根幹とした自学自習」を掲げています。京都大学の目指す教育は、学生が教員から高度の知識や技術を習得しつつ、同時に周囲の多くの人々とともに研鑽を積みながら、主体的に学問を深めることができるように教え育てることです。なぜなら、自らの努力で得た知見こそが、次の学術展開につながる大きな力となるからです。このため、京都大学は、学生諸君に、大学に集う教職員、学生、留学生など多くの人々との交流を通じて、自ら学び、自ら幅広く課題を探究し、解決への道を切り拓く能力を養うことを期待するとともに、その努力を強く支援します。このような方針のもと、優れた学知を継承し創造的な精神を養い育てる教育を実践するため、自ら積極的に取り組む主体性をもった人を求めています。

京都大学は、その高度で独創的な研究により世界によく知られています。そうした研究は共通して、多様な世界観・自然観・人間観に基づき、自由な発想から生まれたものであると同時に、学問の基礎を大切にする研究、ないし基礎そのものを極める研究であります。優れた研究は必ず確固たる基礎的学識の上に成り立っています。

京都大学が入学を希望する者に求めるものは、以下に掲げる基礎的な学力です。

1. 高等学校の教育課程の教科・科目の修得により培われる分析力と俯瞰力
2. 高等学校の教育課程の教科・科目で修得した内容を活用する力
3. 外国語運用能力を含むコミュニケーションに関する力

このような基礎的な学力があってはじめて、入学者は、京都大学が理念として掲げる「自学自習」の教育を通じ、自らの自由な発想を生かしたより高度な学びへ進むことが可能となります。

京都大学は、本学の学風と理念を理解して、意欲と主体性をもって勉学に励むことのできる人を国内外から広く受け入れます。

受入れにおいては、各学部の理念と教育目的に応じて、その必要とするところにしたがい、入学者を選抜します。一般入試では、教科・科目等を定めて、大学入試センター試験と個別学力検査の結果を用いて基礎学力を評価します。特色入試では、書類審査と各学部が定める方法により、高等学校での学修における行動や成果、個々の学部・学科の教育を受けるにふさわしい能力と志を評価します。

3

京都大学特色入試の基本方針

本特色入試では、高大接続と個々の学部教育を受ける基礎学力を重視し、

①高等学校での学修における行動と成果の判定

②個々の学部におけるカリキュラムや教育コースへの適合力の判定

を行い、①と②の判定を併せて、志願者につき高等学校段階までに育成されている学ぶ力及び個々の学部教育を受けるにふさわしい能力並びに志を総合的に評価して選抜します。

①については、高大接続を重んじるという観点から、高等学校での学修における行動や成果を丁寧に評価するため、「調査書」に加え高等学校長等の作成する「学業活動報告書」や「推薦書」を提出していただきます。そこには、出願者の高等学校在学中の顕著な活動歴(例えば、数学オリンピックや国際科学オリンピック出場、各種大会における入賞、教育委員会賞、国際バカロレアディプロマコース・SAT・TOEFL・TOEIC・英検の成績など)を記していただき、志願者が受験科目以外にどういったことを学んできたか、どういった活動を実践してきたかを見ます。さらに、志願者が作成する「学びの設計書」等をもとに、高等学校での活動内容から本学において何を学びたいのか、卒業後どういった仕事に就きたいのかといった、志願者自らの学ぶ意欲や志について書類審査を通じて評価します。

②については、学部が定めたカリキュラムの内容を修得するのに必要とされる基礎学力や個々の学部における教育コースにとって望ましい能力を重んじるという観点から、書類審査に加えて、大学入試センター試験の成績、学部ごとの能力測定考査、論文試験、面接試験、口頭試問等を組み合わせて実施します。

4

各学部が特色入試を通じて 求める人物像

■ 総合人間学部

総合人間学部は、異質な学問分野の接触と相互作用を基盤とした新たな「人間の学」の創出を目指しています。積み上げられてきた既成の学問の成果を生かしながら問題を発見し追究すること、問題の解決に向けて学問間の連携を図り新たな体系を創出することが、本学部の目的です。こうした意味での「総合」、「文理融合」の意義を理解し、これを積極的に進めようとする学生諸君が門をたたくことを望んでいます。

■ 文学部

文学部は、哲学・歴史学・文学・行動科学に関わる諸問題を学び考え、自由の学風を重んじる本学の基本理念を踏まえながら、新たな知的価値を創出することをめざす学生を求めています。特色入試では、基礎学力を十分に備え、これからの文学部での勉学についてプランと展望を持ち、意欲を持って広い意味での勉学に励む人を求めています。

■ 教育学部

教育学部は、教育と心・人間・社会にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を学ぶことで、教育や心理についての専門的知見、さらに、広い視野と異質なものの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を育成する教育を行っています。

そこで、次のような人物を求めています。

- ・ 教科の学習及び総合的な学習の時間などにおいて学習を深め、テーマを設定して探究活動を行い、卓越した学力を身につけ、成果をあげた者、あるいは、学校内外の活動で豊かな経験を積み、創造的な熟達を通して、深い洞察を得ている者
- ・ 人間と社会、教育や心理について関心を持ち、論理的・批判的に思考し、問題を解決する能力とコミュニケーション能力を持つ者
- ・ 将来、教育や心理にかかわる専門的識見を発揮して、社会に貢献する志を持つ者

■ 法学部

法学部は、世界・国家・社会の様々な問題に対する強い関心を持ち、多方面にわたる基礎的な学力を備え、論理的思考力に優れた人材を求めています。



■ 経済学部

経済学部は、総合的な学力とともに、長文読解力、問題発見力、論理的思考、柔軟な思考と創造性、そして高い自学自習の能力を持つ人材を求めています。

■ 理学部

理学部は、自由な雰囲気の下で学問的創造を何よりも大切にし、自律的学修が推奨される学風のもとで、自然科学の基礎体系を深く習得し、それを創造的に展開する能力と、個々の知識を総合化し、新たな知的価値を創出する能力の養成を教育の目標にしています。そのために、理学科のみの1学科制の下で、緩やかな専門化を経て、研究の最前線へ向う教育を行っています。

理学部が望む学生像は、自由を尊重し、既成の概念を無批判に受け入れることなく、自ら考え、新しい知を吸収し創造する姿勢を持つ人、高等学校の教育課程により培われる十分な科学的素養、論理的合理的思考力と語学能力を有し、粘り強く問題解決を試みる人であり、この特色入試では、そのような人の中で、特に、数理科学の分野において極めて優れた才能を持つ人を求めています。

■ 医学部医学科

京都大学は創立以来、自由の学風、闊達な対話を重視し、世界トップレベルの先端的学術研究を推進してきました。医学部医学科は、社会が大きく変革している現代においても、京都大学の学問環境で学び、研究することで、世界をリードできる人材、具体的には以下の要件を満たす人材を全国から広く求めます。

1. 医学・生命科学に深い関心を持ち、かつ真摯な姿勢、熱意を持って真理を探究できる将来の世界の医学をリードするような医学研究者としての資質・適性を持つ人材。
2. 1. 以外でも自然科学の少なくとも1領域において傑出した能力を有し、かつ医学研究者としての資質・適性を持つ人材も考慮します。
3. 本学が提供する MD-PhD コースへの進学を希望する人材。

■ 医学部人間健康科学科

医学部人間健康科学科は、国家資格をベースに、国際的視野を兼ね備えた医療専門職のリーダーや研究者の養成を推進します。特色入試ではこのうち看護師、保健師、理学療法士、作業療法士へのモチベーションを持った学生を募集します。多面的かつバランスの良い思考力で課題や問題を抽出し解決していく医療のエキスパートとなり得る人材を求めています。



■ 薬学部薬科学科

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。京都大学薬学部は、この薬学という学問の基礎体系を深化させ、創薬科学、医療薬学の教育・研究を通して薬学の進展と社会の発展に貢献することを目標としています。

薬科学科では、創薬に関係する幅広い分野において、将来、リーダーとして国際的に活躍することのできる人材を育成しています。そのため、十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目的を設定し挑戦できる行動力があり、特に創薬に関心と興味を持ち、将来、博士学位を取得して、創薬の基盤科学領域で世界をリードできる研究者を目指す人材を求めています。

特色入試では、知的好奇心に基づいた科学的探求力と英語力に優れ、自発的な自然科学の学習や探求活動を実施してきた人を求めます。

■ 薬学部薬学科

薬学は、人体に働きその機能の調節等を介して疾病の予防・治癒、健康の増進をもたらす「医薬品」の創製、生産、適正な使用を目標とする総合科学です。京都大学薬学部は、この薬学という学問の基礎体系を深化させ、創薬科学、医療薬学の教育・研究を通して薬学の進展と社会の発展に貢献することを目標としています。

薬学科では、医療薬学に関係する幅広い分野において、将来、薬剤師資格を有する研究者の国際的リーダーとして活躍することのできる人材、および高度な先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーとして社会に役立つ人材を育成しています。そのため、十分な基礎学力とコミュニケーション能力を有し、自ら目的を設定し挑戦できる行動力があり、将来は博士学位を取得して、医療薬学領域で世界をリードできる研究者、および先端医療の研究開発・問題解決に貢献して薬剤師・医療従事者のリーダーを目指す人材を求めています。

特色入試では、知的好奇心に基づいた科学的探求力と対話力に優れ、医療人としての倫理性や社会性を持っており、自発的な科学の学習や探求活動を実施してきた人を求めます。

■ 工学部地球工学科

持続的に発展できる地球のより良い未来に向けて、社会インフラの構築や都市・地域の開発と防災、資源・エネルギーの高度利用と新規開発、地球・地域環境の保全と改善に関する革新的技術を自ら創り出すことに強い意欲をもち、それに必要な高い基礎学力を有し、将来、国際的視野をもったリーダーとなり得る人材を求めています。



■ 工学部建築学科

建築学科は、自然科学だけでなく、人文科学、社会科学、さらには芸術にも深い関心を持ち、それらの特筆すべき能力、高い基礎学力とリーダーシップを持つ人材を求めています。

■ 工学部物理工学科

次世代の画期的な機械システム、新材料、エネルギーシステムを開発すること、宇宙空間への活動の場を拓けていくことに強い関心を持ち、これらの課題の実現に向け、物理学を基礎とした工学を学ぶ強い意欲、特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を持つ人を求めます。

■ 工学部電気電子工学科

自然現象や科学技術、特に電気電子工学関連の学術分野に対する強い興味と旺盛な探究心をもつとともに、専門教育を受けるのに十分な高い基礎学力と論理的思考力を有しており、かつ科学技術に関する特筆すべき能力やリーダーシップを備えた創造性豊かな人材を求めます。

■ 工学部情報学科

情報学科では、高度情報社会における幅広い問題を情報学の知識と数理的思考により解決することに強い関心を持つ人を求めています。特色入試ではさらに、授業科目の一環として実施した課題研究や、科学に関する課外活動で顕著な実績を上げた経験を有する人を求めます。

■ 工学部工業化学科

化学および化学に関連する工学の基礎学理を理解し、広い視野から物事を論理的に解決する能力、未知なる課題に取り組む意欲と創造性、高い倫理観、優れたコミュニケーション能力とリーダーシップを有し、将来、国際的に活躍する研究者、技術者になり得る人材を求めています。



■ 農学部資源生物科学科

資源生物の高収量・高品質・安定生産と利用を、環境との調和を図りながら追究できる人材になるために、特段に強い意欲と十分な基礎的学力がある人材を求めています。

■ 農学部応用生命科学科

生命現象や生物の機能を化学的なアプローチによって解明・活用することに興味があり、歴史を踏まえて自身と社会の未来を設計することができ、多くの分野にまたがる領域にも飛び込んでいける人材を求めています。

■ 農学部地域環境工学科

食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識と工学的問題解決能力を持って社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

■ 農学部食料・環境経済学科

食料・環境・農業などの分野において、高度な専門知識を持って社会のリーダーとなるべき人材を求めています。

■ 農学部森林科学科

森林・木質資源に関する基礎及び応用科学の分野について学びつつ、研究を深めることに強い関心があり、卒業後は高度な専門知識を持って、地球環境問題の解決について森林科学の立場から学術や制度設計で貢献したいという強い意欲を持つ人材を求めています。

■ 農学部食品生物科学科

食品科学分野において、将来、博士の学位を取得し、国際的に活躍する人材を求めています。

5

募集人員・試験実施方式

学 部・学 科・コ ー ス 名			募集人員	試験実施方式
総合人間学部			5名	学力型AO
文学部			10名	学力型AO
教育学部			6名	学力型AO
法学部			20名	後期日程
経済学部			25名	学力型AO
理学部			5名	学力型AO
医学部	医学科		5名	推薦
	人間健康科学科	先端看護科学コース	20名	学力型AO
		先端リハビリテーション科学コース (理学療法学講座)	5名	
		先端リハビリテーション科学コース (作業療法学講座)	5名	
薬学部	薬科学科		3名	学力型AO
	薬学科		3名	
工学部	地球工学科		3名	推薦
	建築学科		2名	
	物理工学科		5名	
	電気電子工学科		7名	
	情報学科		3名	
	工業化学科		7名	
農学部	資源生物科学科		3名	学力型AO
	応用生命科学科		3名	
	地域環境工学科		3名	
	食料・環境経済学科		3名	
	森林科学科		3名	
	食品生物科学科		3名	

注：法学部を除き、選考の結果によっては合格者数が募集人員に満たない場合がありますが、その欠員分は一般入試(前期日程試験)の募集人員に加えます。

法学部を除き、学部・学科間の併願はできません。

6

選抜日程

学部・学科名		出願期間	第1次選考 結果発表	第2次選考	第2次選考 結果発表	最終 合格発表
総合人間学部		11/1~7	11/30	12/15	—	2/13
文学部		11/1~7	11/30	12/15	—	2/13
教育学部		10/1~5	11/6	11/17,18	12/13	2/13
法学部		1/28~2/6	2/28	3/12	—	3/23
経済学部		11/1~7	11/30	12/15	—	2/13
理学部		10/1~5	11/6	11/17,18	12/13	2/13
医学部	医学科	11/1~7	11/30	12/15,16	—	1/21
	人間健康科学科	10/1~5	11/6	11/17,18	1/21	2/13
薬学部	薬科学科	11/1~7	11/30	12/15	—	2/13
	薬学科					
工学部	地球工学科	11/1~7	—	—	—	2/13
	建築学科					
	物理工学科					
	電気電子工学科					
	情報学科					
	工業化学科					
農学部	資源生物科学科	11/1~7	11/30	12/15	1/11	2/13
	応用生命科学科					
	地域環境工学科					
	食料・環境経済学科					
	森林科学科					
	食品生物科学科					

注：入学手続きは、法学部を除き、2月19日とします。法学部は3月27日とします。

○ 出願期間 △ 第1次選考結果発表 □ 第2次選考 ◇ 第2次選考結果発表 ☆ 最終合格発表 ● 入学手続き
下欄の数字は日付を表す

		10月	11月	12月	1月	2月	3月
総合人間学部			○ 1~7 △ 30 □ 15			☆ 13 ● 19	
文学部			○ 1~7 △ 30 □ 15			☆ 13 ● 19	
教育学部		○ 1~5	△ 6 □ 17,18 ◇ 13			☆ 13 ● 19	
法学部					○ 1/28~2/6	△ 28 □ 12 ☆ 23 ● 27	
経済学部			○ 1~7 △ 30 □ 15			☆ 13 ● 19	
理学部		○ 1~5	△ 6 □ 17,18 ◇ 13			☆ 13 ● 19	
医学部	医学科		○ 1~7 △ 30 □ 15,16		☆ 21 ● 19		
	人間健康科学科	○ 1~5	△ 6 □ 17,18 ◇ 21		☆ 13 ● 19		
薬学部	薬科学科		○ 1~7 △ 30 □ 15			☆ 13 ● 19	
	薬学科		○ 1~7 △ 30 □ 15			☆ 13 ● 19	
工学部	地球工学科					☆ 13 ● 19	
	建築学科		○ 1~7			☆ 13 ● 19	
	物理工学科		○ 1~7			☆ 13 ● 19	
	電気電子工学科		○ 1~7 △ 30 □ 15 ◇ 11		☆ 13 ● 19		
	情報学科		○ 1~7 △ 30 □ 15 ◇ 11		☆ 13 ● 19		
	工業化学科		○ 1~7 △ 30			☆ 13 ● 19	
農学部	資源生物科学科					☆ 13 ● 19	
	応用生命科学科					☆ 13 ● 19	
	地域環境工学科					☆ 13 ● 19	
	食料・環境経済学科		○ 1~7 △ 30 □ 15 ◇ 11		☆ 13 ● 19		
	森林科学科					☆ 13 ● 19	
	食品生物科学科					☆ 13 ● 19	

7

出願資格、出願要件、提出書類、 大学入試センター試験利用教科・科目名、 選抜方法及び基準

【総合人間学部】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学総合人間学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者 2. 調査書の全体の評定平均値4.3以上の者 3. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2、又は物理、化学、生物、地学から2 ※2 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3								
選抜方法及び基準	提出書類、能力測定考査、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行い、上位50名程度を上限として合格者を決定します。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、能力測定考査(文系総合問題、理系総合問題)を行い、その成績、及び大学入試センター試験の成績により最終選考を行います。 能力測定考査においては、文系総合問題では広く文化・科学・思想・社会などから出題し、長文の読解力や文章力を検査します。理系総合問題では一部に数学Ⅲの内容を含み、数理的思考力や論理的思考力を検査します。 能力測定考査の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>文系総合問題</td><td>理系総合問題</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table> 大学入試センター試験においては基礎学力を問い、その得点の合計が800点満点中概ね85%以上であることを求めます。	試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合 計	配 点	100	100	200
試験の区分	文系総合問題	理系総合問題	合 計						
配 点	100	100	200						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目を選択した場合、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【文学部】

入学資格 (出願資格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学文学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
提出書類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書
大学入試センター試験利用 教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 【数学】 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び 基準	提出書類、大学入試センター試験の成績、論文試験、「学びの設計書」に関連する論述試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、「学びの設計書」に関連する論述試験及び論文試験を行います。 ①「学びの設計書」に関連する論述試験及び提出書類、②論文試験、についてA～Cの3段階評価を行い、①及び②の両方がAの者で、かつ大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中760点以上の者を合格者としします。

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。
リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【教育学部】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学教育学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.3以上の者 3. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学びの報告書 3. 学びの設計書								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【地歴・公民】 及び【理科】 については、次のどちらかを選択する。 ・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 及び 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1 ・世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※2 及び 物理、化学、生物、地学から2 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※3								
選抜方法及び基準	提出書類、課題及び口頭試問によるパフォーマンス評価の成績、並びに大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。なお、パフォーマンス評価とは、知識やスキルを活用・応用・総合する力をみるために、学習の成果物やそれに関わる活動を評価する方法です。 第1次選考は、調査書、学びの報告書、及び学びの設計書により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、課題と口頭試問により選考を行います。 ・課題では、読解力、論理的・批判的思考力、問題解決能力などについて評価します。 ・口頭試問では、探究力と洞察力、コミュニケーション能力などについて評価します。 第2次選考における配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>課 題</td><td>口頭試問</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中80%以上の者を合格者とします。	試験の区分	課 題	口頭試問	合 計	配 点	100	100	200
試験の区分	課 題	口頭試問	合 計						
配 点	100	100	200						

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※3 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。
リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【法学部】

入 学 資 格 （出 願 資 格）	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成31年3月卒業見込みの者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成31年3月修了見込みの者 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（平成31年3月31日までに修了見込みの者を含む。） 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 5. 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び平成31年3月31日までに修了見込みの者 6. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号一大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定一） 7. 高等学校卒業程度認定試験又は大学入学資格検定（大検）に合格した者及び平成31年3月31日までに合格見込みの者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの 8. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに18歳に達するもの																													
出 願 要 件	平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験した者																													
提 出 書 類	調査書（全体の評定平均値に基づいて、学科・コースごとの志願者の学年における順位を備考欄に示してください。）																													
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 （世界史B、日本史Bのうち少なくとも1科目を選択すること。） 【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1 【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2																													
選抜方法及び基準	提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、大学入試センター試験及び調査書の成績により選考を行い、募集人員の15.0倍程度を目安として合格者を決定します。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験及び小論文試験の成績により選考を行います。 小論文試験は、日本語と英語の文章を題材に、読解力、論理的思考力、表現力などについて評価します。 大学入試センター試験、小論文の配点は、次のとおりとします。（ ）内の数字は満点を表し、合計の900点満点を270点満点に換算して利用します。 <table><tr><td>試験の区分</td><td colspan="6">大学入試センター試験</td></tr><tr><td></td><td>国 語</td><td>地歴・公民</td><td>数 学</td><td>理 科</td><td>外国語</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>(200)</td><td>(200)</td><td>(200)</td><td>(100)</td><td>(200)</td><td>270 (900)</td></tr></table> <table><tr><td>試験の区分</td><td>小論文</td><td>センター試験</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>100</td><td>270</td><td>370</td></tr></table>	試験の区分	大学入試センター試験							国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	合 計	配 点	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)	270 (900)	試験の区分	小論文	センター試験	合 計	配 点	100	270	370
試験の区分	大学入試センター試験																													
	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	合 計																								
配 点	(200)	(200)	(200)	(100)	(200)	270 (900)																								
試験の区分	小論文	センター試験	合 計																											
配 点	100	270	370																											

※1 基礎を付した科目から2科目選択することに加え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【経済学部】

入学資格 (出願資格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
出願要件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学経済学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者
提出書類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書
大学入試センター試験利用 教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から2 【数学】 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】 物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2 ※1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び 基準	提出書類、論文試験、大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験（500点）を行い、その成績、第1次選考（100点）及び大学入試センター試験の成績により最終選考を行います。 なお、大学入試センター試験においては基礎学力を問い、その得点（ただし、英語は250点満点を200点満点に換算）の合計が900点満点中概ね720点以上を合格の基準とします。

※1 基礎を付した科目から2科目を選択することに代え、「物理」、「化学」、「生物」、「地学」のうちから2科目を選択することができます。その場合は、200点満点を100点満点に換算して利用します。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【理学部】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者 3. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日の時点において20歳未満で18歳に達したもの (個別入学資格審査の申請方法等については、7月に公表予定の平成31年度一般入試選抜要項を確認すること。)								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学理学部での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書(学年における順位の記載は不要) 3. 学びの報告書								
大学入試センター試験利用 教科・科目名	【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】物理、化学、生物、地学から2 【外国語】英語 ※2								
選抜方法及び 基準	提出書類、数学に関する能力測定考査、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、学業活動報告書、及び学びの報告書により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、数学に関する能力測定考査、口頭試問の成績により選考を行います。 数学に関する能力測定考査では、数理解理解力、問題解決力、論理的思考力、明解な説明能力などについて評価します。 口頭試問では、意欲、適性などについて評価します。 数学に関する能力測定考査、及び口頭試問の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>数 学</td><td>口頭試問</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>80</td><td>20</td><td>100</td></tr></table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中630点以上の者を合格者としてします。 ※数学に関する能力測定考査の結果は、11月17日(土)午後10時(予定)に合否照会システムにて発表します。数学に関する能力測定考査の合格者に対して、11月18日(日)に口頭試問を実施します。	試験の区分	数 学	口頭試問	合 計	配 点	80	20	100
試験の区分	数 学	口頭試問	合 計						
配 点	80	20	100						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点(筆記200点満点、リスニング50点満点)を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【医学部 医学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 国内の国際バカロレア認定校 (DP) を平成30年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 3. 国際科学オリンピック (数学、物理、化学、生物) 日本代表として世界大会に出場した者で、高等学校又は中等教育学校を平成32年3月卒業見込みの者 4. 国際科学オリンピック (数学、物理、化学、生物) 日本代表として世界大会に出場した者で、国内の国際バカロレア認定校 (DP) を平成31年4月から平成32年3月までに卒業見込みの者 5. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
推 薦 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れており、学校長が責任を持って推薦する者 2. 調査書の全体の評定平均値 4.7以上又は国際バカロレアのスコア (取得見込みの者は Predicted Grades) 42以上の者 3. TOEFL-iBT、IELTS (アカデミック・モジュール) のうち少なくとも1つを受験し、受験者成績書の原本を提出できる者 4. 本学医学部医学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者								
提 出 書 類	1. 調査書 (※) 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. TOEFL-iBTのスコアレポート (ETSから郵送されるスコアレポート) の原本 (PDF版を印刷したものは不可)、又はIELTS成績証明書 (Test Report Form) の原本 (コピー不可) 5. 特色事項 (各種コンクール、科学オリンピック等) に関する資料 (*入学資格 (出願資格) の3、4に該当する者は提出必須) ※入学資格 (出願資格) の2、4に該当する者で、1. 調査書の提出ができない場合は6を提出すること 6. 国際バカロレア資格の成績証明書の原本 (取得見込みの者は、学校長が発行するPredicted Grades)								
選抜方法及び基準	提出書類、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して判定します。 第1次選考は、提出書類の内容により選考します。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験、及び面接試験の成績により選考します。 小論文試験では、論理的思考力、文章構成力などについて評価します。なお、理科 (物理、化学、生物のうち2科目) の基礎知識を必要とします。 面接試験では、京都大学が望む医学研究者、医師としての適性、社会的能力、科学的能力などについて評価します。 なお、小論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>小 論 文</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>160</td><td>240</td><td>400</td></tr></table> ※小論文試験の結果は、小論文試験日の午後8時 (予定) に合否照会システムにて発表します。 小論文試験合格者に対して、面接試験を実施します。	試験の区分	小 論 文	面 接	合 計	配 点	160	240	400
試験の区分	小 論 文	面 接	合 計						
配 点	160	240	400						
備 考	特色入試に合格し、入学したもので本学が提供するMD-PhDコースへ進学するものには奨学金制度を設けております。								

【医学部 人間健康科学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者																																																
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学医学部人間健康科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.0以上の者 3. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者																																																
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書																																																
大学入試センター試験利用教科・科目名	先端看護科学コース 【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】物理、化学、生物から2 【外国語】英語 ※2 先端リハビリテーション科学コース（理学療法学講座） 【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】物理、化学、生物から2 【外国語】英語 ※2 先端リハビリテーション科学コース（作業療法学講座） 【国語】国語 【数学】「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、 「倫理、政治・経済」から1又は2 } 合わせて3科目選択 ※1 【理科】物理、化学、生物から1又は2 【外国語】英語 ※2																																																
選抜方法及び基準	提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して判定します。 第1次選考は、学業活動報告書、及び学びの設計書により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、面接試験、及び事前提出書類（調査書、学業活動報告書、及び学びの設計書）により選考を行います。 論文試験では、医療専門職としての問題発見・解決能力などについて評価します。 面接試験では、医療専門職のリーダーとしての適性・コミュニケーション能力などについて評価します。 なお、第2次選考において、論文試験及び面接試験のいずれか一つ以上の得点が一定得点に達しなかった場合、不合格となることがあります。 最終選考は、第2次選考の成績上位者から順に、大学入試センター試験の指定した教科・科目の合計得点が950点満点中75%以上の者の中から合格者を決定します。 大学入試センター試験、論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 ○先端看護科学コース及び先端リハビリテーション科学コース（理学療法学講座） <table><tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="6">大学入試センター試験</td></tr><tr><td>国 語</td><td>地歴・公民</td><td>数 学</td><td>理 科</td><td>外国語(英語)</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>200</td><td>100</td><td>200</td><td>200</td><td>250</td><td>950</td></tr></table> 試験の区分 論 文 面 接 合 計 <table><tr><td>配 点</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table> ○先端リハビリテーション科学コース（作業療法学講座） <table><tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="6">大学入試センター試験</td></tr><tr><td>国 語</td><td>数 学</td><td>地歴・公民</td><td>理 科</td><td>外国語(英語)</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>200</td><td>200</td><td colspan="2">300</td><td>250</td><td>950</td></tr></table> 試験の区分 論 文 面 接 合 計 <table><tr><td>配 点</td><td>100</td><td>100</td><td>200</td></tr></table>	試験の区分	大学入試センター試験						国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語(英語)	合 計	配 点	200	100	200	200	250	950	配 点	100	100	200	試験の区分	大学入試センター試験						国 語	数 学	地歴・公民	理 科	外国語(英語)	合 計	配 点	200	200	300		250	950	配 点	100	100	200
試験の区分	大学入試センター試験																																																
	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語(英語)	合 計																																											
配 点	200	100	200	200	250	950																																											
配 点	100	100	200																																														
試験の区分	大学入試センター試験																																																
	国 語	数 学	地歴・公民	理 科	外国語(英語)	合 計																																											
配 点	200	200	300		250	950																																											
配 点	100	100	200																																														

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含み、250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）とします。

リスニング免除者は筆記200点満点を250点満点に換算して利用します。

【薬学部 薬科学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学薬学部薬科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.3以上の者 3. TOEFL-iBTスコアが概ね75点以上、又はIELTS (アカデミック・モジュール) でオーバーオール・バンドスコア5.5以上、実用英語検定 (英検) 準1級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書 4. TOEFL-iBT、IELTSの受験者成績書の原本 (コピー不可)、または実用英語検定 (英検) の合格証明書の原本 (コピー不可) のうち少なくとも1つ								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理、化学、生物から2 【外国語】 英語 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。 論文試験では、科学に関する英語又は日本語の資料を読んで日本語で論述する形式です。内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力、新たに得た知識を活用して問題を解決する能力、及び自身の考えをまとめて論述する能力などについて評価します。 面接試験は、1) 課題発見・解決力、2) 論理的思考力、3) 知的好奇心に基づいた科学への主体的学習態度、4) コミュニケーション力、5) 倫理性や社会性などについて評価します。 論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>論 文</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配点</td><td>200</td><td>200</td><td>400</td></tr></table> 最終合格者は、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中概ね8割以上の者で、第2次選考の成績上位順に決定します。	試験の区分	論 文	面 接	合 計	配点	200	200	400
試験の区分	論 文	面 接	合 計						
配点	200	200	400						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点 (筆記200点満点、リスニング50点満点) を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【薬学部 薬学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学薬学部薬学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者 2. 調査書の全体の評定平均値が概ね4.3以上の者 3. TOEFL-iBT、IELTS、実用英語検定（英検）のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL-iBT、IELTSにあっては受験者成績書の原本を提出できる者、または実用英語検定（英検）にあっては合格証明書の原本を提出できる者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書 4. TOEFL-iBT、IELTSの受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理、化学、生物から2 【外国語】 英語 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、論文試験、面接試験、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、論文試験、及び面接試験の成績により選考を行います。 論文試験では、科学に関する英語又は日本語の資料を読んで日本語で論述する形式です。内容を正確に読み取り、分析した上で論理的に考察する能力、新たに得た知識を活用して問題を解決する能力、及び自身の考えをまとめて論述する能力などについて評価します。 面接試験は、1) 課題発見・解決力、2) 論理的思考力、3) 知的好奇心に基づいた科学への主体的学習態度、4) コミュニケーション力、5) 倫理性や社会性などについて評価します。 論文試験、及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>論 文</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配点</td><td>200</td><td>200</td><td>400</td></tr></table> 最終合格者は、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中概ね8割以上の者で、第2次選考の成績上位順に決定します。	試験の区分	論 文	面 接	合 計	配点	200	200	400
試験の区分	論 文	面 接	合 計						
配点	200	200	400						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【工学部 地球工学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
推 薦 要 件 (出 願 要 件)	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者、又は高校課程の数学、物理、化学の内少なくとも1科目においてきわめて優れた学業成績を修めた者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部地球工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推 薦 人 員	各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。
提 出 書 類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%以上であり、「数学I・数学A」、「数学II・数学B」、物理、化学の4科目の内少なくとも2科目の得点率が90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

※1 2科目受験者については第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【工学部 建築学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
推 薦 要 件 (出 願 要 件)	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 国際的な科学競技会に出場した者、又は国内大会における成績優秀者、あるいは授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部建築学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推 薦 人 員	各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。
提 出 書 類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%以上であり、「数学I・数学A」、「数学II・数学B」の2科目についてはいずれも得点率が90%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

※1 2科目受験者については第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【工学部 物理工学科】

入学資格 (出願資格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
推薦要件 (出願要件)	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部物理工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推薦人員	各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。
提出書類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】国語 【地歴・公民】世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 大学入試センター試験の合計得点が900点満点中85%以上の者について、提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、Aの者を合格とします。

※1 2科目受験者については第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。
リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【工学部 電気電子工学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
推 薦 要 件 (出 願 要 件)	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部電気電子工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推 薦 人 員	各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。
提 出 書 類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 提出された書類の審査に重点を置きます。提出書類をA・B・C・Dの4段階で評価し、A評価の者の内、大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%を超えた者を合格者としてします。

※1 2科目受験者については第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【工学部 情報学科】

入 学 資 格 （ 出 願 資 格 ）	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者																															
推 薦 要 件 （ 出 願 要 件 ）	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 授業科目の一環として実施した課題研究や科学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部情報学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者																															
推 薦 人 員	各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。																															
提 出 書 類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要																															
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2																															
選抜方法及び基準	提出書類、口頭試問、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して口頭試問により選考を行います。 口頭試問では、提出書類の記載事項の確認、高等学校での学修の確認、顕著な活動実績に係る科目についての高等学校の発展的内容に基づいた試問、英語による自己紹介などにより評価します。 口頭試問の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>口頭試問</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>200</td><td>200</td></tr></table> 大学入試センター試験の成績は下表の点数に換算し、第2次選考に合格した者のうち得点の合計が1000点満点中850点以上の者を合格者としてします。 <table><tr><td rowspan="2">試験の区分</td><td colspan="6">大学入試センター試験</td></tr><tr><td>国 語</td><td>地歴・公民</td><td>数 学</td><td>理 科</td><td>外国語</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>150</td><td>100</td><td>250</td><td>250</td><td>250</td><td>1000</td></tr></table>						試験の区分	口頭試問	合 計	配 点	200	200	試験の区分	大学入試センター試験						国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	合 計	配 点	150	100	250	250	250	1000
試験の区分	口頭試問	合 計																														
配 点	200	200																														
試験の区分	大学入試センター試験																															
	国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	合 計																										
配 点	150	100	250	250	250	1000																										

※1 2科目受験者については第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）として利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点を250点満点に換算して利用します。

【工学部 工業化学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成31年3月卒業見込みの者 2. 高等専門学校第3年次を平成31年3月修了見込みの者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成30年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者
推 薦 要 件 (出 願 要 件)	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 人格・識見ともに特段に優れている者 2. 特筆すべき能力、リーダーシップと高い基礎学力を有する者 3. 化学に関する授業科目の一環として実施した課題研究や、化学に関する課外活動において顕著な実績をあげた者 4. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者 5. 本学工学部工業化学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者
推 薦 人 員	各学校長が推薦できる人数は、本学工学部の各学科に対してそれぞれ1名とします。
提 出 書 類	1. 調査書 2. 推薦書 3. 学びの設計書 4. 顕著な活動実績の概要
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学I・数学A」、「数学II・数学B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物から1 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2
選抜方法及び基準	提出書類、及び大学入試センター試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、調査書、推薦書、学びの設計書、及び顕著な活動実績の概要に記載された内容により選考を行います。 最終選考は、第1次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の合計得点が900点満点中80%以上の者を合格者とします。ただし、80%に達しない科目がある場合は、不合格にすることがあります。

※1 2科目受験者については第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【農学部 資源生物科学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成27年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者						
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部資源生物科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. TOEFL-iBT、TOEIC、実用英語検定（英検）のうち少なくとも1つを受験し、TOEFL-iBTスコアが概ね61点以上、TOEIC スコアが概ね600点以上、実用英語検定（英検）2級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者 3. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者						
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書 4. TOEFL-iBT、TOEICの受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ						
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理、化学、生物、地学から2 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2						
選抜方法及び基準	提出書類、大学入試センター試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、面接試験の成績により選考を行います。 面接試験では、意欲、適性及び意見を論理的に述べる能力などについて評価します。面接試験の配点は次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>200</td><td>200</td></tr></table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、第2次選考とセンター試験の成績により合格者を決定します。	試験の区分	面 接	合 計	配 点	200	200
試験の区分	面 接	合 計					
配 点	200	200					

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【農学部 応用生命科学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部応用生命科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史Bから1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 化学、生物 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、大学入試センター試験、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。 小論文試験は、応用生命科学領域に関するテーマについて、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。※3 面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。 小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>小論文</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>250</td><td>250</td><td>500</td></tr></table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。	試験の区分	小論文	面 接	合 計	配 点	250	250	500
試験の区分	小論文	面 接	合 計						
配 点	250	250	500						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

※3 京都大学農学部応用生命科学科では、生命・食・環境をキーワードとし、化学と生物にまたがる基礎と応用を志向した農芸化学領域の教育・研究をしています。

【農学部 地域環境工学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者						
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部地域環境工学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者						
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書						
大学入試センター試験利用 教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理（必ず選択すること）、及び化学、生物、地学から1 【外国語】 英語 ※2						
選抜方法及び 基準	提出書類、大学入試センター試験、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。 小論文試験は、問題解決能力、論理的思考力などについて評価します。 面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。 小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。						
	試験の区分		小論文	面 接	合 計		
	配 点		250	250	500		
	最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の成績を下表の点数に換算し、800点満点中640点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。						
	試験の区分		大学入試センター試験				
		国 語	地歴・公民	数 学	理 科	外国語	合 計
配 点		100	100	200	200	200	800

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【農学部 食料・環境経済学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成27年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者						
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部食料・環境経済学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者						
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書						
大学入試センター試験利用 教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理、化学、生物、地学から2 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2						
選抜方法及び 基準	提出書類、大学入試センター試験、及び小論文試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験の成績により選考を行います。 小論文試験は、英語の文章を読んで日本語で論述する形式です。長文の英文について内容を正確に読み取り分析した上で、論理的に自分の意見を論述する能力などについて評価します。 小論文試験の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>小論文</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>200</td><td>200</td></tr></table> (英文課題を2つ、それぞれ100点) 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中、概ね720点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。	試験の区分	小論文	合 計	配 点	200	200
試験の区分	小論文	合 計					
配 点	200	200					

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【農学部 森林科学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成29年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成29年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者								
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部森林科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確認する者 2. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者								
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書								
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理、化学、生物、地学から2 【外国語】 英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語から1 ※2								
選抜方法及び基準	提出書類、大学入試センター試験、小論文試験、及び面接試験の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、小論文試験及び面接試験の成績により選考を行います。 小論文試験は、環境・資源などに関する英語の長文を読み日本語で論述する形式などです。正確に記述内容を把握する能力と、自分の考えを論理的に説明する能力などにより評価します。 面接試験では、意欲、適性、及び識見などについて評価します。 小論文試験及び面接試験の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>小論文</td><td>面 接</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>200</td><td>100</td><td>300</td></tr></table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中720点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。	試験の区分	小論文	面 接	合 計	配 点	200	100	300
試験の区分	小論文	面 接	合 計						
配 点	200	100	300						

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 「英語」を利用する場合は、リスニングテストを含みます。「英語」は250点満点（筆記200点満点、リスニング50点満点）を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

【農学部 食品生物科学科】

入 学 資 格 (出 願 資 格)	次のいずれかに該当することが必要です。 1. 高等学校又は中等教育学校を平成27年4月から平成31年3月までに卒業又は卒業見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を平成27年4月から平成31年3月までに修了又は修了見込みの者						
出 願 要 件	次のすべての要件を満たすこととします。 1. 本学農学部食品生物科学科での学びを強く志望し、合格した場合は必ず入学することを確約する者 2. TOEFL-iBTスコアが概ね80点以上、IELTS（アカデミック・モジュール）でオーバーオール・バンドスコア6.0以上、TOEICスコアが概ね800点以上、実用英語検定（英検）準1級以上の合格のうち、少なくとも1つの要件を満たす者 3. 平成31年度大学入試センター試験において、指定した教科・科目を受験する者						
提 出 書 類	1. 調査書 2. 学業活動報告書 3. 学びの設計書 4. TOEFL-iBT、IELTS、TOEICの受験者成績書の原本（コピー不可）、または実用英語検定（英検）の合格証明書の原本（コピー不可）のうち少なくとも1つ						
大学入試センター試験利用教科・科目名	【国語】 国語 【地歴・公民】 世界史B、日本史B、地理B、「倫理、政治・経済」から1 ※1 【数学】 「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理科】 物理、化学、生物から2 【外国語】 英語 ※2						
選抜方法及び基準	大学入試センター試験、提出書類、及び口頭試問の成績を総合して合格者を決定します。 第1次選考は、提出書類の内容により選考を行います。 第2次選考は、第1次選考に合格した者に対して、口頭試問の成績により選考を行います。口頭試問の配点は100点満点とし、基礎学力及び論理的思考について評価します。 口頭試問の配点は、次のとおりとします。 <table><tr><td>試験の区分</td><td>口頭試問</td><td>合 計</td></tr><tr><td>配 点</td><td>100</td><td>100</td></tr></table> 最終選考は、第2次選考に合格した者に対して、大学入試センター試験の得点の合計が900点満点中750点以上の者の中から、第2次選考の成績順に合格者を決定します。	試験の区分	口頭試問	合 計	配 点	100	100
試験の区分	口頭試問	合 計					
配 点	100	100					

※1 2科目受験者については、第1解答科目の成績を用います。

※2 リスニングテストを含みます。250点満点 (筆記200点満点、リスニング50点満点) を200点満点に換算して利用します。

リスニング免除者は筆記200点満点として利用します。

■ 京都大学特色入試に関する問い合わせ先

tokushoku-nyushi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

メールにてお問い合わせください。原則として、お問い合わせに対して個別に回答できませんが、京都大学特色入試WEBサイトに「よくあるご質問」としてまとめて回答いたします。

■ 京都大学特色入試WEBサイト

<http://www.tokushoku.gakusei.kyoto-u.ac.jp>

■ 学部・学科に関する問い合わせ先

学 部	担当掛	電話番号	住 所
総合人間学部	教務掛	075-753-7875	〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町
文学部	第一教務掛	075-753-2709	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
教育学部	教務掛	075-753-3010	
法学部	教務掛	075-753-3107	
経済学部	教務掛	075-753-3406	
理学部	学部教務掛	075-753-3637	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
医学部医学科	学部教務掛	075-753-4325	〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町
医学部人間健康科学科	教務掛	075-753-9313	
薬学部	教務掛	075-753-4514	〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町
工学部	教務掛	075-753-5039	〒606-8501 京都市左京区吉田本町
農学部	学部教務掛	075-753-6012	〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

■ 入学試験に関する問い合わせ先

担当部課	電話番号	住 所	URL
教育推進・学生支援部 入試企画課	075-753-2521	〒606-8501 京都市左京区吉田本町	http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/

■ 障害等のある受験者に対する合理的配慮について

詳細については、平成30年7月頃に京都大学ホームページにて公表予定の「平成31年度京都大学特色入試学生募集要項」をご確認ください。

発行 平成30年6月

京都大学 教育推進・学生支援部入試企画課

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 TEL:075-753-2521～2524

京都大学ホームページ <http://www.kyoto-u.ac.jp/>

